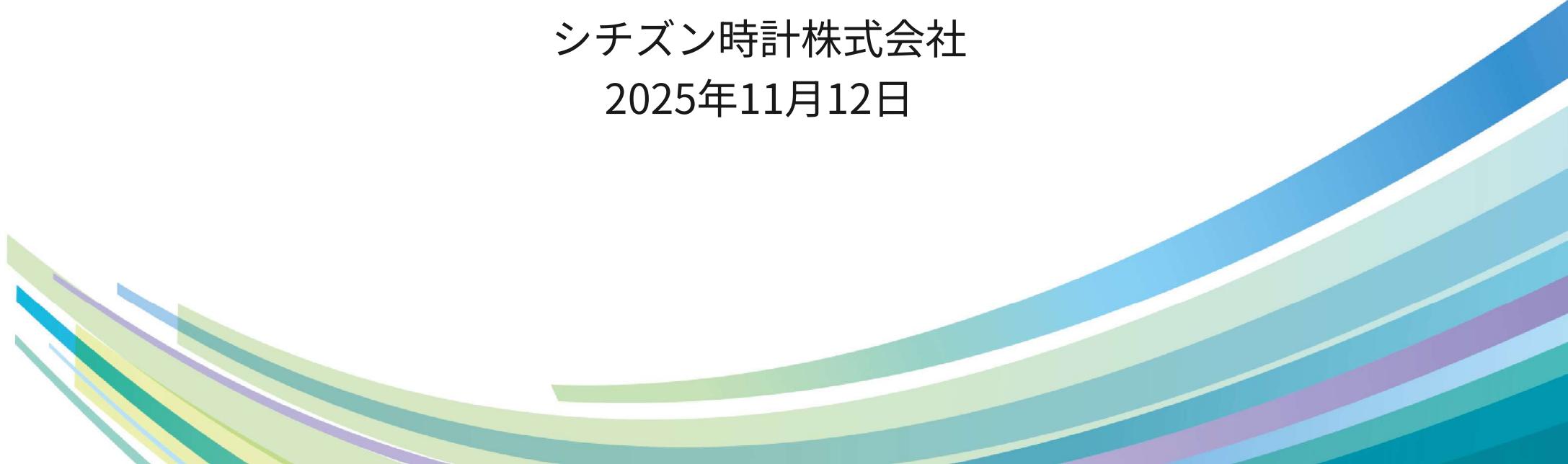


2025年度（2026年3月期）
第2四半期決算説明会

シチズン時計株式会社
2025年11月12日



2025年度第2四半期累計（4-9月）業績概要 増収増益

- 時計事業 北米を中心に“シチズン”と“ブローバ”ブランドが計画を上回り好調に推移
北米の増収と自社EC比率向上に加え、販売単価上昇なども寄与し大幅増益
- 工作機械事業 海外市場が堅調に推移

2025年度通期業績予想 上方修正

- 売上高 3,180億円 ⇒ 3,270億円 (+90億円)
- 営業利益 200億円 ⇒ 245億円 (+45億円)
- 経常利益 220億円 ⇒ 290億円 (+70億円)
- 親会社株主に
帰属する当期純利益 200億円 ⇒ 220億円 (+20億円)
- 想定為替レート 1USD 145円
1EUR 160円 ⇒ 170円

2025年度第2四半期累計（4－9月期）業績概要

第2四半期（4-9月） 増収増益

(単位：億円)	2024年度 上期実績	2025年度 上期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,565	1,592	+27	+1.7%
営業利益	123	129	+6	+5.3%
営業利益率	7.9%	8.2%	-	-
経常利益	122	161	+39	+32.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	122	118	▲3	▲3.3%
為替レート	¥154/USD ¥167/EUR	¥146/USD ¥167/EUR		

2025年度第2四半期累計（4-9月）セグメント別業績概要

CITIZEN

(単位：億円 / % : 営業利益率)

売上高	2024年度 2Q累計実績	2025年度 2Q累計実績	前年同期比		セグメント	業績
			増減額	増減率		
時計事業	857	893	+36	+4.2%	■ 時計事業	【增收増益】
工作機械事業	373	385	+11	+3.0%	■ 工作機械事業	【增收減益】
デバイス事業	333	313	▲20	▲6.0%	■ デバイス事業	【減収減益】
合計	1,565	1,592	+27	+1.7%		
営業利益						
時計事業	96 (11.3%)	117 (13.2%)	+21	+21.9%		
工作機械事業	30 (8.1%)	26 (6.9%)	▲3	▲12.0%		
デバイス事業	27 (8.3%)	16 (5.2%)	▲11	▲41.8%		
消去又は全社	▲31	▲30	+0	-		
合計	123 (7.9%)	129 (8.2%)	+6	+5.3%		

2025年度第2四半期（7－9月期）業績概要

第2四半期（7-9月） 増収増益

(単位：億円)	2024年度 2Q(7-9月)実績	2025年度 2Q(7-9月)実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	806	839	+33	+4.1%
営業利益	76	82	+6	+8.4%
営業利益率	9.5%	9.9%	-	-
経常利益	49	100	+51	+103.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	37	26	▲10	▲27.9%
為替レート	¥153/USD ¥166/EUR	¥147/USD ¥171/EUR		

2025年度第2四半期（7-9月）セグメント別業績概要

CITIZEN

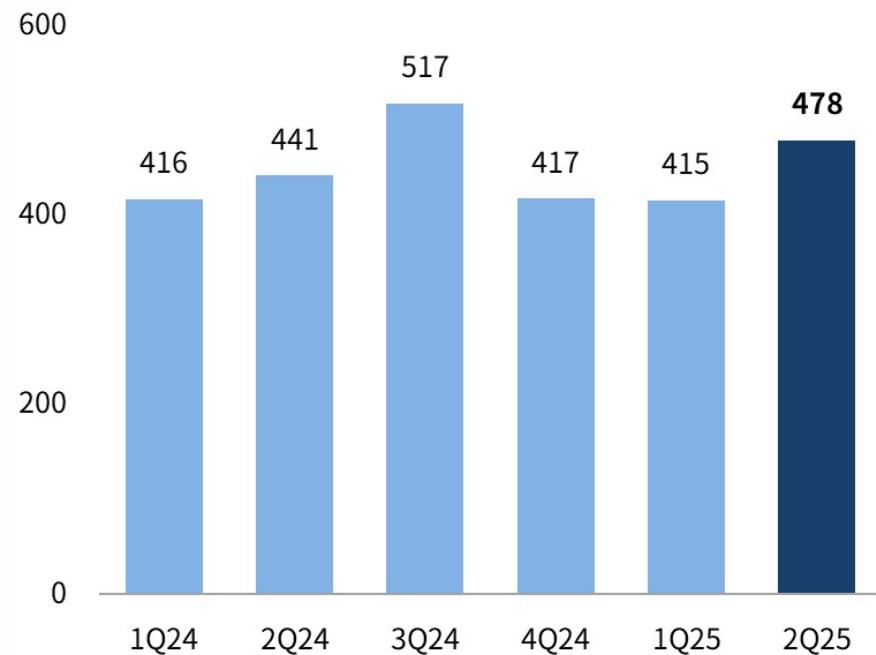
(単位：億円 / % : 営業利益率)

セグメント	業績	2024年度		2025年度		前年同期比	
		売上高	2Q(7-9月)実績	売上高	2Q(7-9月)実績	増減額	増減率
時計事業	【增收増益】	時計事業	441	478	+37	+8.4%	
工作機械事業	【增收減益】	工作機械事業	194	195	+0	+0.3%	
デバイス事業	【減収減益】	デバイス事業	170	165	▲4	▲2.6%	
		合計	806	839	+33	+4.1%	
営業利益							
時計事業	+24.0%	時計事業	59 (13.5%)	73 (15.4%)	+14	+24.0%	
工作機械事業	▲32.8%	工作機械事業	17 (8.8%)	11 (5.9%)	▲5	▲32.8%	
デバイス事業	▲22.6%	デバイス事業	15 (9.2%)	12 (7.3%)	▲3	▲22.6%	
消去又は全社	-	消去又は全社	▲15	▲14	+1	-	
合計	+8.4%	合計	76 (9.5%)	82 (9.9%)	+6	+8.4%	

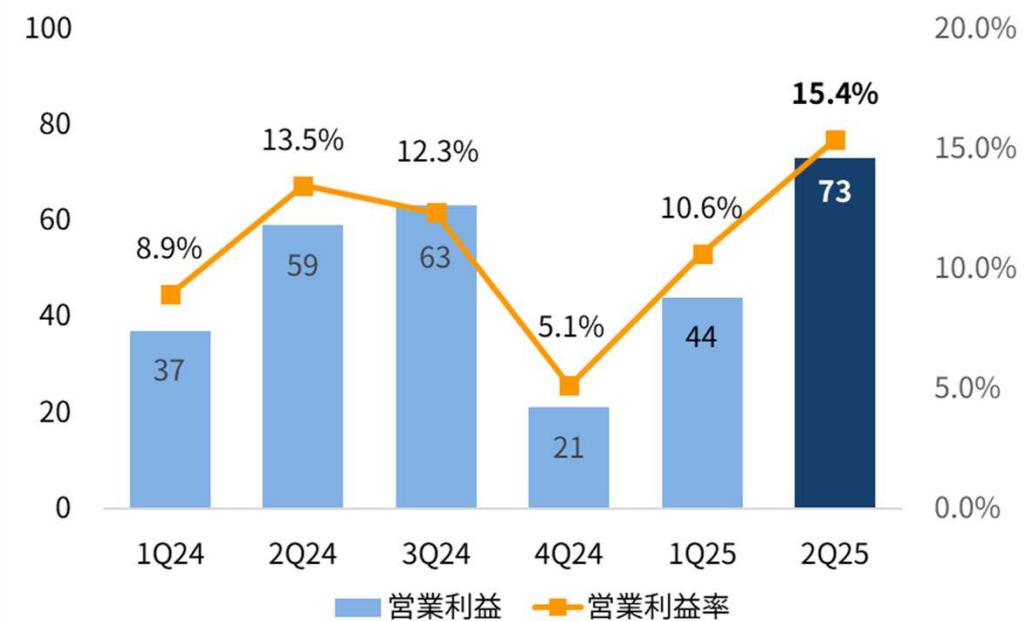
■ 第2四半期（7-9月） 増収増益

- 完成品(シチズン) 国内市場は、内需が伸び悩んだほかインバウンド需要が想定を下回り、減収
海外市場は、欧米が好調に推移し、アジアも市況は低調ながらも販売が増え、増収
- 完成品(ブローバ) 主力の北米を中心にブランド創業150周年をフックとした販売施策が奏功し、大幅増収
- ムーブメント アナログクオーツムーブメントが堅調かつ機械式ムーブメントも好調に推移し、増収

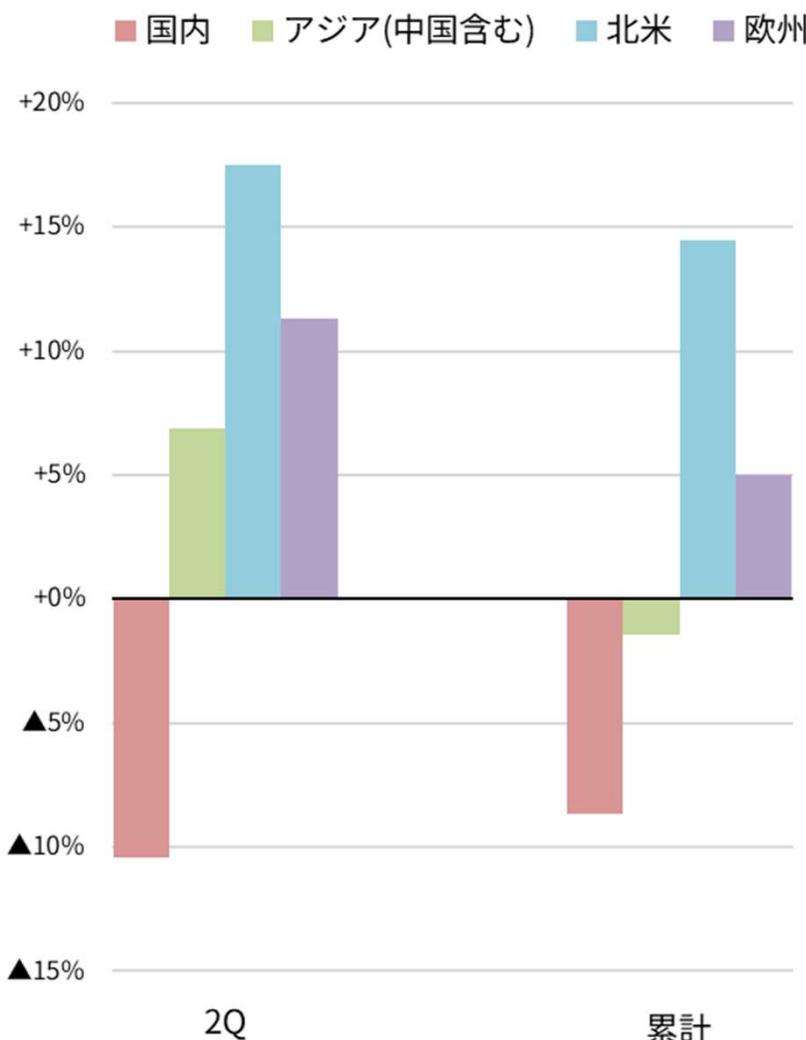
売上高 (億円)



営業利益 (億円)・営業利益率



前年同期比増減率 (現地通貨ベース)



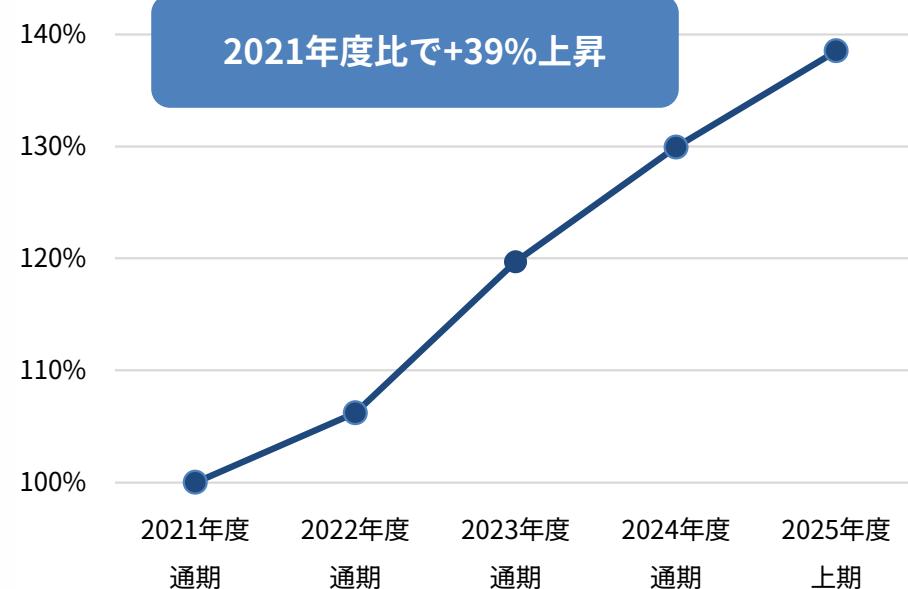
地域別販売状況 (7-9月)

地域	前年同期比	詳細
■ 国内	【減収】	レディスブランドの『クロスシー』や『ザ・シチズン』などのプレミアムブランドは堅調に推移。一方でメンズブランドの『アテッサ』の高価格帯モデルが伸び悩んだほか、インバウンド需要も想定を下回った。
■ アジア(中国含む)	【増収】	市況は低調ながらも、香港などの一部市場の販売が増えたほか、タイやインドでは、機械式時計が堅調に推移。
■ 北米	【増収】	シチズンブランド、プローバブランド共に百貨店や宝飾チェーンなどの主力流通が好調に推移したほか、自社ECの販売拡大が継続。シチズンブランドでは『アテッサ』や『シリーズエイト』が大きく伸長。
■ 欧州	【増収】	機械式時計の新商品 Zenshin コレクションが牽引し、好調を維持したほか『プロマスター』の販売も拡大。

ブランド提供価値向上による販売単価上昇

- 国内 『アテッサ』や『クロスシー』など中価格帯の製品ミックス改善が進んだことに加え、『ザ・シチズン』などのプレミアムブランドも貢献し、販売単価は上昇傾向
- 北米 シチズンブランドでは『アテッサ』や『シリーズエイト』などの高単価サブブランド、プローバブランドもブランド創業150周年を迎える付加価値製品の導入が進み、販売単価が上昇

国内販売単価増減率



※ 2021年度を基準とした国内のシチズンブランドの販売単価増減率

北米販売単価増減率(現地通貨ベース)



※ 2021年度を基準とした北米のシチズン及びプローバブランドの販売単価増減率(現地通貨ベース)

『ザ・シチズン』30周年記念限定モデル

- 移ろいゆく自然の情景の美しい一瞬を、土佐和紙を用いた文字板で表現した「Iconic Nature Collection」
- 発年差±5秒の高精度エコ・ドライブムーブメントを搭載
- ケースには軽量で耐傷性に優れたスーパーチタニウム™を使用

The
CITIZEN

30th & beyond



発売日 : 2025年10月9日
価 格 : 希望小売価格 451,000円～473,000円(税込)
限定数量 : 世界限定各400本

『シチズンクロスシー』 北川景子さんが初めてデザインを監修した限定モデル

- イメージキャラクターを務める北川景子さんがデザインを監修した限定モデルを発売
- 発売日より3日間、東京・表参道にて『シチズンクロスシー』の人気モデルを試着することができるPOP-UPイベントを開催



CITIZEN



発売日 : 2025年10月3日
価 格 : 希望小売価格 143,000円(税込)
限定数量 : 1,500本

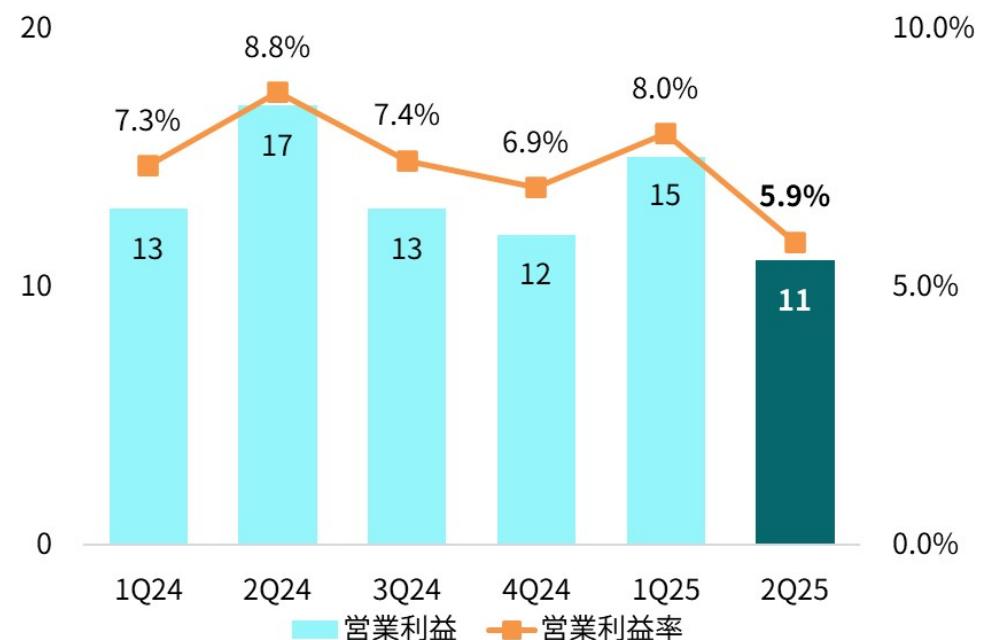
第2四半期（7-9月） 増収減益

- 国内市場 市況に底打ち感はみられるものの、主に自動車関連の低迷が続き、減収
- 海外市場 米州は医療関連の販売が好調に推移し、欧州も医療関連が堅調かつミヤノブランドが伸長。
アジアは中国向けの販売が伸び、海外市場全体で、増収

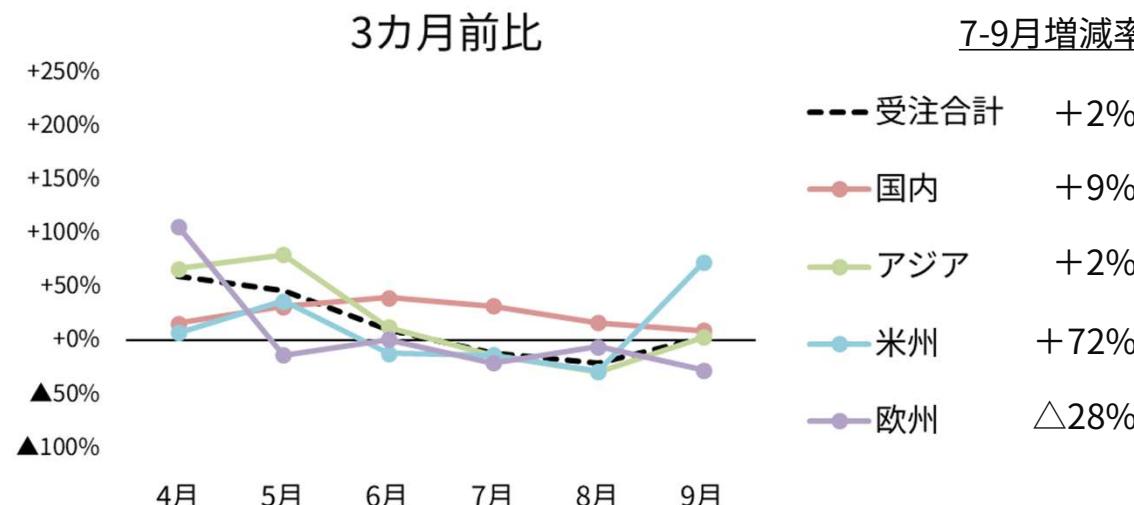
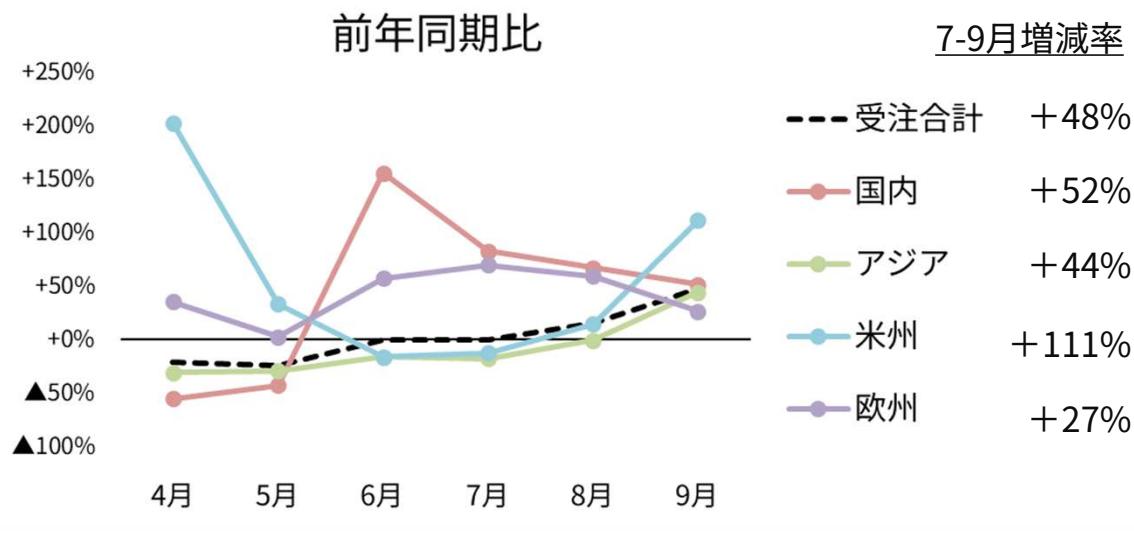
売上高 (億円)



営業利益 (億円)・営業利益率



受注台数（3カ月移動平均）増減率の推移

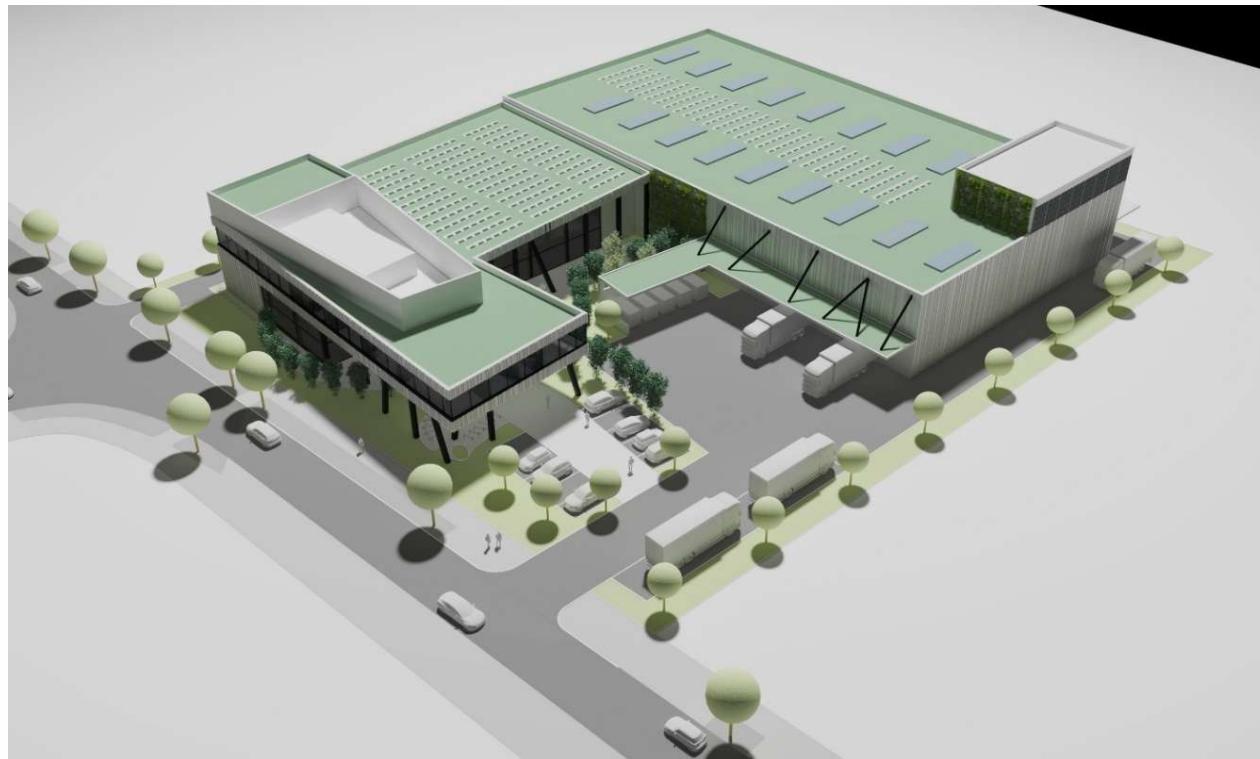


地域別受注状況（7-9月）

地域	詳細
国内	半導体関連の受注が増加。自動車関連は底打ち感はみられるものの先行きは不透明。
アジア (中国含む)	中国は半導体関連の需要増により伸長。その他アジアは一部地域が米国関税影響などにより設備投資に慎重姿勢。
北米	医療関連が堅調に推移。米国販売拠点の値上げ前の駆け込み需要により大幅増。
欧州	自動車関連の低迷が継続するも医療関連とジョブショップ向けが堅調に推移。

ドイツ販売子会社の新本社を建設

- 欧州事業の拡大とサービス体制の強化を目的に新本社をドイツ・オスト菲尔デルン市に建設
- 延床面積を従来比で2倍に拡張し、欧州全域での販売・サービス体制を強化



Citizen Machinery Europe新本社 完成イメージ

延床面積 : 5,900m² (予定) 地上2階建
竣工予定 : 2026年10月



北上事業所の新棟竣工 大型機需要の高まりに対応し、生産能力を2割増強

- 航空機業界や自動車業界などを中心に、主軸径の大型機に対する世界的なニーズの高まりへの対応
- 北上事業所におけるミヤノブランドの最大生産能力は従来比2割増



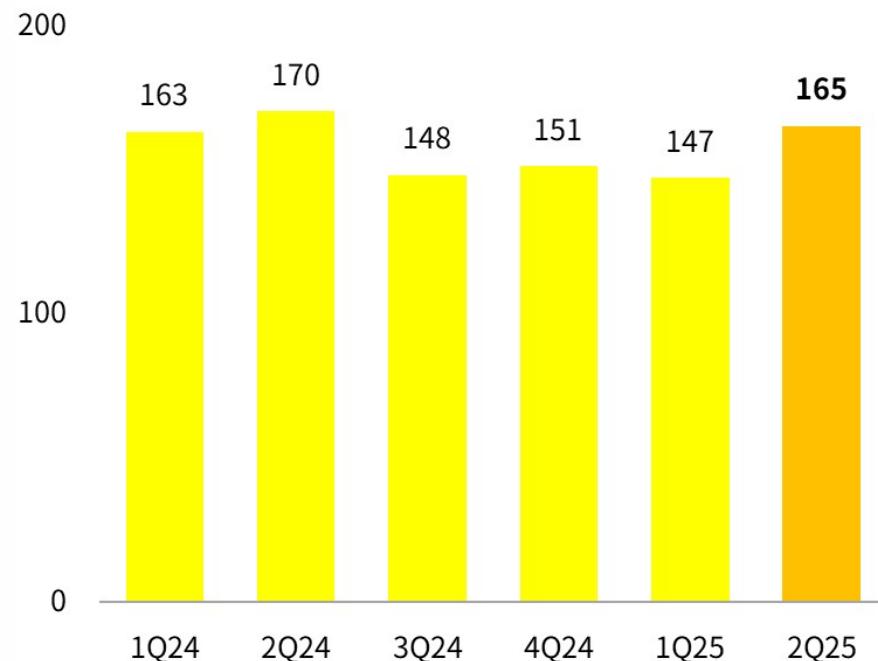
北上事業所 新棟外観

延床面積 : 5,200m² 地上2階
本格稼働 : 2026年4月（予定）

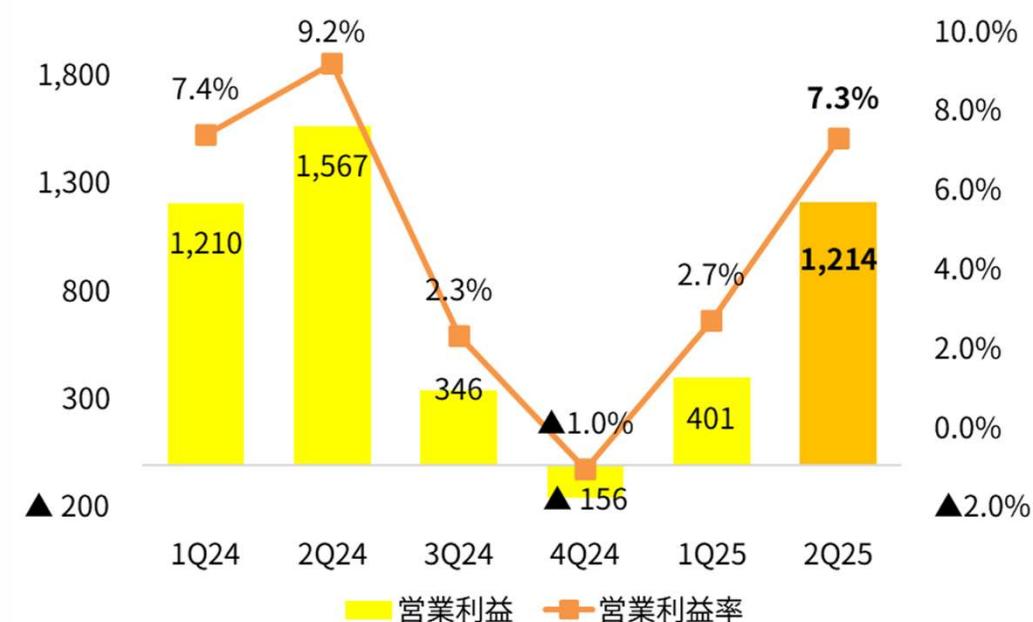
第2四半期（7-9月） 減収減益

- 自動車部品 米国と中国が堅調に推移するも、その他の市場の回復は限定的となり、減収
- 小型モーター 市況の先行きの不透明感から販売が足踏みし、減収
- セラミックス 光通信向けのサブマウント製品などが販売を伸ばし、増収
- プリンター 前年同期に獲得したフォトプリンターの大口受注の反動により、減収

売上高 (億円)



営業利益 (百万円)・営業利益率



2025年度下期及び通期業績予想



2025年度 下期及び通期連結業績予想

(単位：億円)	2025年度 5/13予想		2025年度 11/12予想		増減額		増減率	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高	1,630	3,180	1,677	3,270	+47	+90	+2.9%	+2.8%
営業利益	110	200	115	245	+5	+45	+4.9%	+22.5%
営業利益率	6.7%	6.3%	6.9%	7.5%	-	-	-	-
経常利益	120	220	128	290	+8	+70	+6.7%	+31.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	90	200	101	220	+11	+20	+12.4%	+10.0%
為替レート	¥145/USD ¥160/EUR	¥145/USD ¥160/EUR	¥145/USD ¥170/EUR	¥146/USD ¥168/EUR				

為替影響額(1円円安の年間影響額)

	USD	EUR
売上高	+7.5億円	+2.6億円
営業利益	+2.4億円	+1.3億円

2025年度 下期及び通期連結業績予想 セグメント別業績推移

CITIZEN

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2025年度 5/13予想		2025年度 11/12予想		増減額		増減率	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
時計事業	935	1,800	966	1,860	+31	+60	+3.3%	+3.3%
工作機械事業	385	755	404	790	+19	+35	+5.1%	+4.6%
デバイス事業	310	625	306	620	▲3	▲5	▲1.1%	▲0.8%
合計	1,630	3,180	1,677	3,270	+47	+90	+2.9%	+2.8%
営業利益								
時計事業	98 (10.5%)	185 (10.3%)	102 (10.6%)	220 (11.8%)	+ 4	+ 35	+4.4%	+18.9%
工作機械事業	35 (9.1%)	60 (7.9%)	37 (9.2%)	64 (8.1%)	+ 2	+ 4	+6.9%	+6.7%
デバイス事業	9 (2.9%)	20 (3.2%)	7 (2.6%)	24 (3.9%)	▲1	+ 4	▲12.9%	+20.0%
消去又は全社	▲ 32	▲ 65	▲ 32	▲ 63	+ 0	+ 2	-	-
合計	110 (6.7%)	200 (6.3%)	115 (6.9%)	245 (7.5%)	+ 5	+ 45	+4.9%	+22.5%

*2025年度より電子機器他事業は「デバイス事業」に集約。2024年度実績はデバイス事業と電子機器他事業を統合し「デバイス事業」として表記。時計事業についても一部変更あり。



CITIZEN

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。
なお、億円未満は切り捨てになっています。